

あさひの日だまり

令和6年 2月19日 (月)

NO.38

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～卒業式の歌練習が始まりました～

15日の(金)に全校歌練習がありました。体育館に全校が集まっているかと思い体育館に入ってみると、体育館には1・2・3年生しかいません。担任の先生にお聞きすると、卒業式では全校を3部に分けて歌うのだそうです。1・2・3年生は「グッデー グッバイ」4・5年生は「大空がむかえる朝」6年生は「ほらね、」を歌うということもわかりました。そういうわけで、体育館では1・2・3年生が練習していたのです。同じ時間に、4・5年生は集会室で練習をし



ていました。卒業学年

の6年生は音楽室に集まって練習をしていました。

1・2・3年生の練習では、2年生の担任の丸山先生のギター伴奏で練習をしていました。乗りの良い丸山先生の軽快な語りと思わず体を動かして歌いたくなるような伴奏に合わせて、子どもたちも笑顔で練習をしていました。

4・5年生は岡田先生の指導のもと、柔軟体操から練習を始めていました。十分な体操の後「さ～歌おうか」という岡田先生の号令でこの会場でも笑顔が絶えず楽しい練習が始まっていました。

6年生は、今回は卒業式の歌ではなくて学習発表会で歌う歌の練習をして

いました。担任の高野先生の指揮にあわせて6年生も楽しそうに歌う姿が印象的でした。担任の先生と6年生の皆さんが互いに笑顔で歌を歌っている様子は本当に微笑ましい感じがしました。どの学年の皆さんも「ここまでみんなで楽しくやってこられたね。その気持ちを歌に込めて歌おうよ!」という思いがあふれているように感じられました。

卒業式当日は「ここまでありがとうございました」という思いを言葉で伝えることはできません。でも、歌いながら「ありがとうございましたお元気で」と心の中で願うことはできます。そんな温かな思いのこもった歌声が体育館に響くことを願ってやみません。私たち教職員も残り少ない数日に卒業生の明るい未来を祈りたいと思います。

6年生との生活もわずかなのですね



～スケート教室へ行ってきました～

2・3年生とスケート教室へ行ってきました。子どもたちは本当にすごいです。最初歩くこともヨタヨタだった2年生が、最後はスイスイ滑っていました。座っているところから立つ練習をしていた朝の様子からは想像できない姿でした。子どもたちってすごいです。3年生は1年前の経験なのに最初からちゃんと滑れるのです。体が覚えているんですね。大人の私たちでは到底考えられない子どもの柔軟さを目にしました。小さいうちにいろいろなことに挑戦して体験することの大切さを実感しました。同行してお手伝いをいただいた保護者の皆様に心より感謝いたします。

子どもたちの吸収力に目を見張りました



～そり教室がありました～

カレーもおいしかったです

1年生のそり教室へ一緒に行ってきました。平日ではありましたが、静岡の中学生の団体や地元の小学生の団体が重なり、ゲレンデは結構な人出でした。私たちはレストランとは違った棟に席を用意していただき、落ち着いて準備や昼食をとることができました。ゲレンデをそりをもって上り勢いよく下る繰り返しを、満面の笑みで延々と楽しむ子どもたちでしたが、さすがに最後の方はゲレンデの下の方に座り込む姿が見られました。

お願い

来年度からは1年生のそり教室をなくそうと思います。1・2年生がスケート教室を行い、3年生以上はスキー教室としたいと思います。できるだけ早いうちにスケートの体験をすることで短時間で技術を身につけてくれると思います。スキーやスケートをご家族と一緒に楽しんでいただければという思いもあってそう考えました。ご理解ご協力よろしくお願いいたします。

～あさひ運営委員会が行われました～

本校の進む方向についてお話ししました

あさひ運営委員会は学校評議員の皆様5名と4地区の地域コーディネーターの皆様、PTA 役員3名、そして町教委より1名学校関係者3名の計16名をもって構成しています。会の目的は校長の考える学校運営方針に対する助言が中心です。今回の会では学校運営方針が子どもの実態に寄り添っていたかどうかをお話しさせていただきました。合わせて授業参観でご覧いただいた子どもたちの様子も含め、ご意見と来年度への助言をいただきました。

委員の皆様からいただいたご意見を掲載させていただきます。いただいたご意見をもとに来年度の学校運営方針を新たに作成してまいります。

- ・6年生が受けていた性教育の講演に思わず引き込まれて、最後まで参観させていただいた。感動的な授業でこんな素晴らしいことを教えていただけることに本当に感謝したい。
- ・2年生の漢字の勉強だったと思うのだけれど、なかなか難しい内容であったが、子どもたちの発想に感心した。私も負けじと頑張りたい。
- ・性教育の講演会を聞かせてもらった。この年になってこんな素晴らしい授業を受けることができ大変に勉強させていただいた。
- ・自分の子どもが小学校の時は性教育を親と一緒に受ける機会があった。その時は精神的なことが中心であったが、今は思春期の体の仕組みとか丁寧に教えてくれるのでぜひ将来に生きるように覚えておいて欲しい。
- ・授業時間5分短縮とかいうニュースもあるが、子どもにとって無理のない範囲での対応を考えてほしい。
- ・5月のころに比べると子どもたちも先生方も打ち解けてきていて、厳しい中にも和やかな感じがあり、成長の跡がうかがえる。
- ・各教室にいろいろな動物がいたりイラストがあつたりしていてクラスが一体となっている感じがした。新しいことに取り組んでいる様子がうかがえた。
- ・みんな楽しそうだな～と思った。自分の時と比べると今の子どもたちは明日も学校へ行きたいなと思っているように感じた。
- ・各クラスに自分が表現できるような工夫が見られた。サンキューボックスなどは仲間の思いに寄り添えるような工夫でいいなと思った。今後も子どもが生活しやすい学校を創って欲しい。
- ・せっかく施設が近くにあるのだから、スケート教室やスキー教室を増やせないだろうか。子どもたちはどんどん上手になっていく力を持っているので。
- ・先生と子どもたちの距離が昔と違うなと実感する。子どもが楽しく生活できていてうれしい。カレー会へ役員だけでなく保護者も自由に参加できたらという声がある。
- ・(辰野町教育委員会担当者様より)今年度辰野東小学校へ来て指導をして下さった地域の方が延べ数で452人いた。これだけ多くの方に支援していただけるのは「学校のためなら何でもしよう」という意識が地域にあるということに本当にありがたいことです。地域と学校が手を取り合って子どもを育てていくということが子どもの成長につながっています。本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。